

町議会議員として 駆け抜けた3年半 心に残ったこと

9月のある日、電話をとると、南知多町に住む80代の女性からでした。町民の皆さんにお届けしている「南知多民報」を見ての感想でした。

「私は戦争を体験してきた世代で、戦争は絶対ダメだと思っているが、共産党は怖いというイメージがどうしてもあった。でも内田議員のやってること、言われることは本当にその通りだと思った。

なぜ日本共産党に？

私は内海に生まれ内海で育ちました。父は左官で手伝ったこともあります。大学入試に落ちたら、継ごうと思っていました。家は貧しく、母は近くの内海の酒造工場などで働いていましたが、40歳頃にリウマチを発症し、入退院を繰り返していました。

高校の社会の先生が、日本国憲法の成立過程と内容を詳しく教えてくれ、その素晴らしさに感動したことは、今でも心に残っています。奨学金とアルバイトで何とか大学に行き幅広い知識に触れ、社会の仕組みや矛盾を知り、日本共産党に出会いました。



どうしても感謝したくて電話した。これからもがんばってください」という嬉しい言葉でした。

住民の命・健康・尊厳が何よりも大切にされる政治、子どもたちの幸福追求権を真剣に考える政治、平和憲法が大事にされる政治のために、さらに力を尽くす決意です。



南知多町で40年

大学を卒業して南知多町に戻り、町内の小中学校で、新任から退職まで40年余り勤務し、子どもたちに寄り添った教育と子どもと教職員の人権を守ることを何より大切にしてきました。

日本共産党は、戦前から一貫して戦争に反対し、弱者そして困っている市民にいつも寄り添う活動を続けています。私もそのような気持ちで毎日、町政に関わっていきたくと思っています。

町民の願い

まっすぐ議会に届けて

毎議会ですべて質問

命とくらしを守るため全力

コロナ対策最優先



南知多町議会議員

日本共産党

内田 たもつ

〈プロフィール〉

- 1952年 南知多町生まれ
- 内海小・内海中・半田高・愛知教育大卒
- 1975～2016年 南知多町内の豊浜中、豊浜小、豊丘小、師崎小で教職に携わり、民主教育と子どもと教職員の人権を守る教職員労働組合運動の先頭に立って活動する
- 2017年6月 南知多町議会議員に当選
- 妻と二人暮らし
- 趣味 読書・映画鑑賞
- 好きな食べ物 シャコエビ（皮むき大得意）

市民＋野党で新しい時代を！
日本共産党にご支援を



南知多民報

日本共産党南知多支部の活動を紹介します

2020年号外
〈発行〉 日本共産党南知多支部
南知多町内海内塩田77-3
☎ 0569-62-1816